

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 公民科 科目 政治・経済

教科: 公民科 科目: 政治・経済 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者: (1組～6組:樋口) (7・8組:手塚)

使用教科書: (実教出版『最新政治・経済』 第一学習社『最新政治・経済資料集2024』)

教科 公民科 の目標: 社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 社会の在り方に関する現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

科目 政治・経済 の目標: 社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関する現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>経済活動の意義・経済社会の変容</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用など、経済の根本的な概念について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源の効率的な配分について、効率性と公平性の観点から多面的に考察する。 資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現を視野に、経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとする。 資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済的な効率性と公平性の対立関係について考える。 政府の規模を念頭にして、経済的な課題への対応を考える。 教科書、資料集 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用など、経済の根本的な概念について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源の効率的な配分について、効率性と公平性の観点から多面的に考察している。 資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現を視野に、経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。 資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	7
<p>経済主体と市場の働き・企業の役割</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 需要と供給により価格と生産量に変化するものを理解する。 希少な資源の効率的な配分をもたらす市場機構や、寡占や独占、外部不経済、情報の非対称性など市場機能の限界について理解する。 株式会社の仕組みについて、株主と経営者との関係を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場経済における生産要素の効率的な配分や、政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 企業が従業員をはじめ、消費者や地域社会などに対してどのような責任を果たすべきか、協働的に考察・構想し、適切に表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済主体を理解する。 需給曲線を通して市場メカニズムを考える。 市場の効率性と公平性はどのように調整されるべきか考える。 企業の役割と社会的責任について考える。 教科書、資料集 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 需要と供給により価格と生産量に変化することを理解している。 希少な資源の効率的な配分をもたらす市場機構や、寡占や独占、外部不経済、情報の非対称性など市場機能の限界について理解している。 株式会社の仕組みについて、株主と経営者との関係を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場経済における生産要素の効率的な配分や、政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 企業が従業員をはじめ、消費者や地域社会などに対してどのような責任を果たすべきか、協働的に考察・構想し、適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	9
定期考査			○	○	○	1

1 学 期	<p>国民所得・経済成長と国民の福祉／金融の役割 ・日本銀行の役割</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NIの生産・分配・支出のそれぞれの内容とともに、3つが理論的に同額になることを理解する。 ・金融は、信用創造等により、家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ、生産性を高め、社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解する。 ・中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景気のそれぞれの局面に対処するため、日本銀行がどのような政策をとっているか、企業との関係も含めて多面的・多角的に考察、構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済成長による経済的な豊かさと幸福について、数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価するべきかという観点から、主体的に考えを導きだそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NIから三面等価の原則について考える。 ・経済成長と私たちの豊かな生活について考える。 ・金融を通して経済活動の活性化について考える。 <p>・教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NIの生産・分配・支出のそれぞれの内容とともに、3つが理論的に同額になることを理解している。 ・金融は、信用創造等により、家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ、生産性を高め、社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。 ・中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景気のそれぞれの局面に対処するため、日本銀行がどのような政策をとっているか、企業との関係も含めて多面的・多角的に考察、構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融技術の革新について主体的に追究して、それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。 ・金融商品についての関心を高め、リスクとリターンとの関係などをよく理解したうえで、無理のない資金運用を心がけようとするなど、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 	○	○	○	10
	<p>財政の役割と租税・日本の財政の課題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政に求められる機能について理解する。 ・累進課税制度について、計算方法も踏まえながら理解する。 ・日本の財政の現状と課題について、内容理解や複数資料の読み取りを通じて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会計の歳入・歳出について、一部項目が大きく増加した背景を考察し、適切に表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公平な税負担について、主体的に考えを導きだそうとする。 ・日本の財政の現状と課題を理解したうえで、財政再建について興味関心をもち、歳出減と歳入増の両面から再建のための方策を積極的に追究しながら、「財政健全化のあり方」を探究するための意欲を高めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財政の持つ様々な役割について考える。 ・納税者としての立場から租税のあり方について考える。 <p>・教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政に求められる機能について理解している。 ・累進課税制度について、計算方法も踏まえながら理解している。 ・日本の財政の現状と課題について、内容理解や複数資料の読み取りを通じて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会計の歳入・歳出について、一部項目が大きく増加した背景を考察し、適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公平な税負担について、主体的に考えを導きだそうとしている。 ・日本の財政の現状と課題を理解したうえで、財政再建について興味関心をもち、歳出減と歳入増の両面から再建のための方策を積極的に追究しながら、「財政健全化のあり方」を探究するための意欲を高めている。 	○	○	○	9
定期	考査			○	○	○	1
	<p>中小企業と農業</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業が日本経済の発展に寄与してきた役割について理解している。 ・ベンチャー企業や社会的企業のように、大企業では事業を進められなかった分野で活躍する中小企業のあり方について理解している。 ・食料安全保障の観点から、日本の食料自給率と貿易の関係について理解している。 ・農業法人による大規模化や6次産業の進展、スマート農業の振興など、日本の農業の新しい流れについて理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本経済における中小企業の構造的な課題について、大企業との関係や国際化の観点から多面的・多角的に考察している。 ・日本経済の基盤ともいえる中小企業が、自立的に成長していける環境を作り出すためにどのような政策が必要か、協働的に考察し、その結果を適切に表現している。 ・所得補償金などによって小規模農家を保護するべきか、規制緩和で大規模経営を振興するべきか、といった観点で日本の農業について協働的に考察・構想や政策判断をし、それらを適切に表現している。 ・持続可能な農業への取り組みと消費者とのかかわりについて多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料安全保障について主体的に追究し、自給率向上などの日本農政の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・6次産業化や高付加価値農産品、スマート農業の進展など農政の新しい動きに注目し、これらの学習の成果を将来の職業選択などにおいて生かそうとしている。 ・中小企業をめぐる現状を理解したうえで、ベンチャー企業のあるあり方について興味関心をもち、「起業」について探究するための意欲を高めている。 ・農業をめぐる現状と課題を理解したうえで、これからの日本の農業について興味関心をもち、「持続可能な農業のあり方」を探究するための意欲を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の二重構造に注目して日本経済のあり方を考える。 ・社会とのかかわりに着目して、これからの中小企業の姿を考える。 ・農業の自由化を背景として改革が進められている農政について考える。 <p>・教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業が日本経済の発展に寄与してきた役割について理解している。 ・ベンチャー企業や社会的企業のように、大企業では事業を進められなかった分野で活躍する中小企業のあり方について理解している。 ・食料安全保障の観点から、日本の食料自給率と貿易の関係について理解している。 ・農業法人による大規模化や6次産業の進展、スマート農業の振興など、日本の農業の新しい流れについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本経済における中小企業の構造的な課題について、大企業との関係や国際化の観点から多面的・多角的に考察している。 ・日本経済の基盤ともいえる中小企業が、自立的に成長していける環境を作り出すためにどのような政策が必要か、協働的に考察し、その結果を適切に表現している。 ・所得補償金などによって小規模農家を保護するべきか、規制緩和で大規模経営を振興するべきか、といった観点で日本の農業について協働的に考察・構想や政策判断をし、それらを適切に表現している。 ・持続可能な農業への取り組みと消費者とのかかわりについて多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料安全保障について主体的に追究し、自給率向上などの日本農政の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・6次産業化や高付加価値農産品、スマート農業の進展など農政の新しい動きに注目し、これらの学習の成果を将来の職業選択などにおいて生かそうとしている。 ・中小企業をめぐる現状を理解したうえで、ベンチャー企業のあるあり方について興味関心をもち、「起業」について探究するための意欲を高めている。 ・農業をめぐる現状と課題を理解したうえで、これからの日本の農業について興味関心をもち、「持続可能な農業のあり方」を探究するための意欲を高めている。 	○	○	○	18
定期	考査			○	○	○	○

